



山形市の取組紹介

令和8年2月17日
山形市

©2021 horikichi atsuhiro

健康医療先進都市

人口あたりの医療資源が充実。山形大学医学部も立地し、重粒子線がん治療施設も稼働開始。「健康」「医療」をまちづくりの柱とし、山形市のブランド価値向上を目指す。健康寿命延伸が最大の課題。

2019年4月、中核市に移行し山形市保健所を設置することで基盤が整う。

文化創造都市

城下町としての伝統文化とともに、山形国際ドキュメンタリー映画祭、山形交響楽団、東北芸術工科大学の立地など、もともと文化芸術活動が盛ん。文化の力を企業等と結びつけ、産業振興や雇用の確保につなげ、持続可能なまちづくりを目指す。

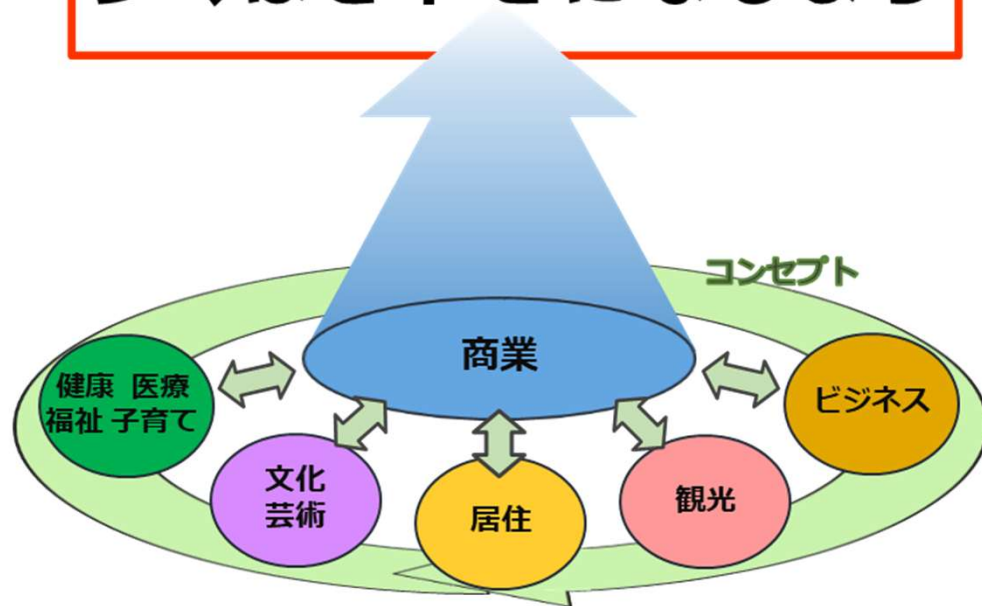
2017年ユネスコ創造都市ネットワーク(Film部門)に加盟。

2025年ジャパントゥイズが世界に発信するに値する日本の自治体第1号として山形市を選定。

■まちづくりのテーマと取組分野

新テーマ

歩くほど幸せになるまち



コンセプト

- | | |
|---------------------|------|
| ①身体性(体感)、偶発性、希少性の創出 | 【新規】 |
| ②滞在する場としての空間の整備 | 【継承】 |
| ③回遊できる仕組みづくり | 【新規】 |
| ④みどり豊かな魅力ある空間の整備 | 【継承】 |
| ⑤官民一体となった公共空間の整備・活用 | 【新規】 |
| ⑥公共交通の活用促進 | 【継承】 |
| ⑦DXの推進 | 【新規】 |

【健康・医療・福祉・子育て】【文化・芸術】【居住】【観光】【ビジネス】【商業】の各分野の魅力向上を図りながら、各分野共通のコンセプトを定め一貫性のある取組を推進し、各分野の魅力向上を商業の魅力向上につなげ、新たなまちの実現を目指す。

文化創造都市の拠点 Q1(キューイチ)



やまがたクリエイティブシティセンターQ1 (旧第一小学校)

まちなかの歴史的建造物の活用



まちなかを流れる歴史的資源 山形五堰



山形五堰網図



下水道の普及や継続的な清掃活動



世界かんがい施設遺産登録
(インドでの授賞式)

地域資源を活かしたまちづくり(御殿堰)



高度経済成長期に暗渠化された御殿堰



御殿堰を開渠し親水空間へ

地域資源を活かしたまちづくり(御殿堰)

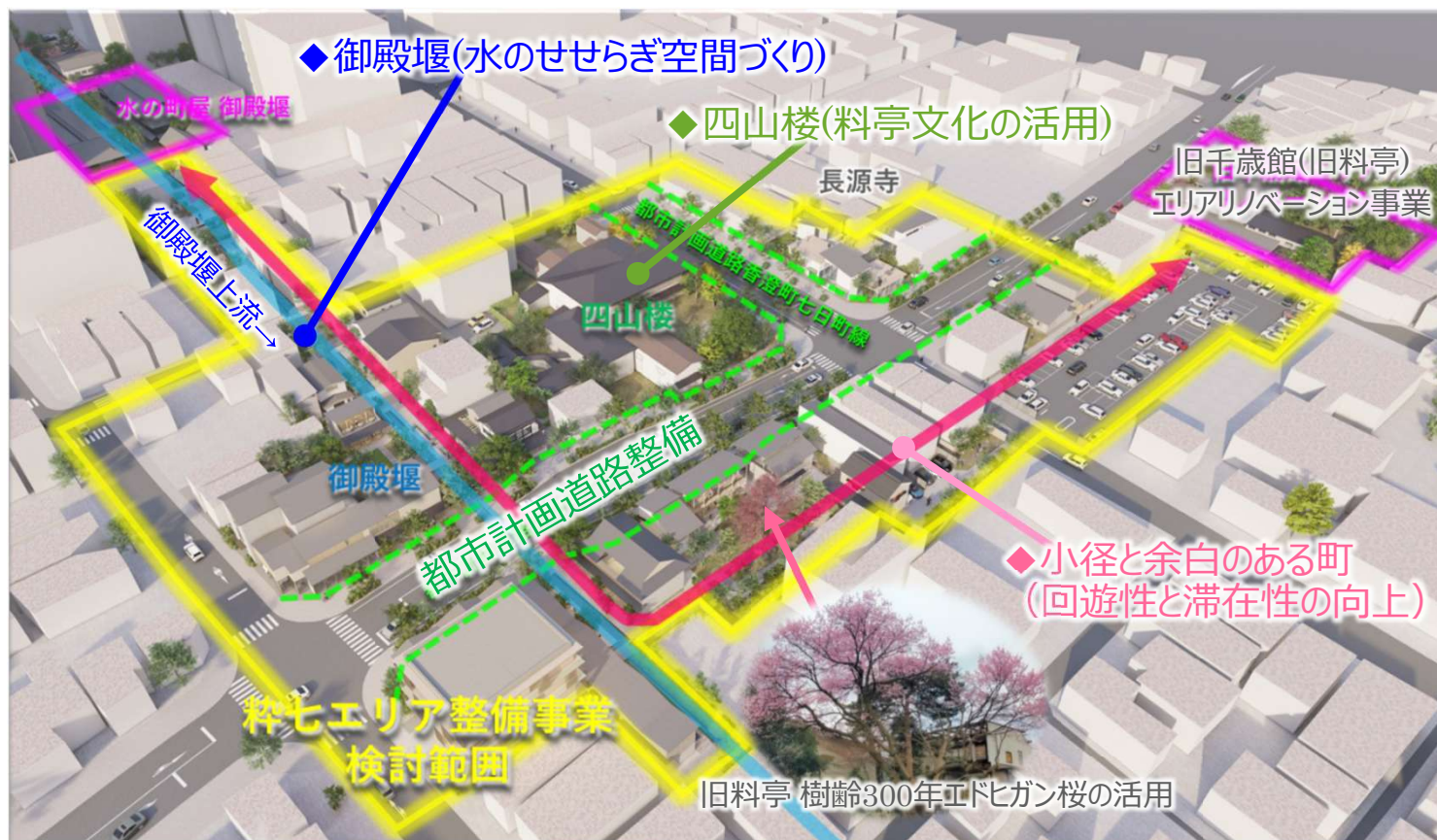


粹七エリア整備事業（粹な町 七日町）

小径と余白のある町 御殿堰沿いの小路と広場の整備による回遊性と滞在性の向上

御殿堰の整備 歴史ある御殿堰のせせらぎを感じるられる空間の形成

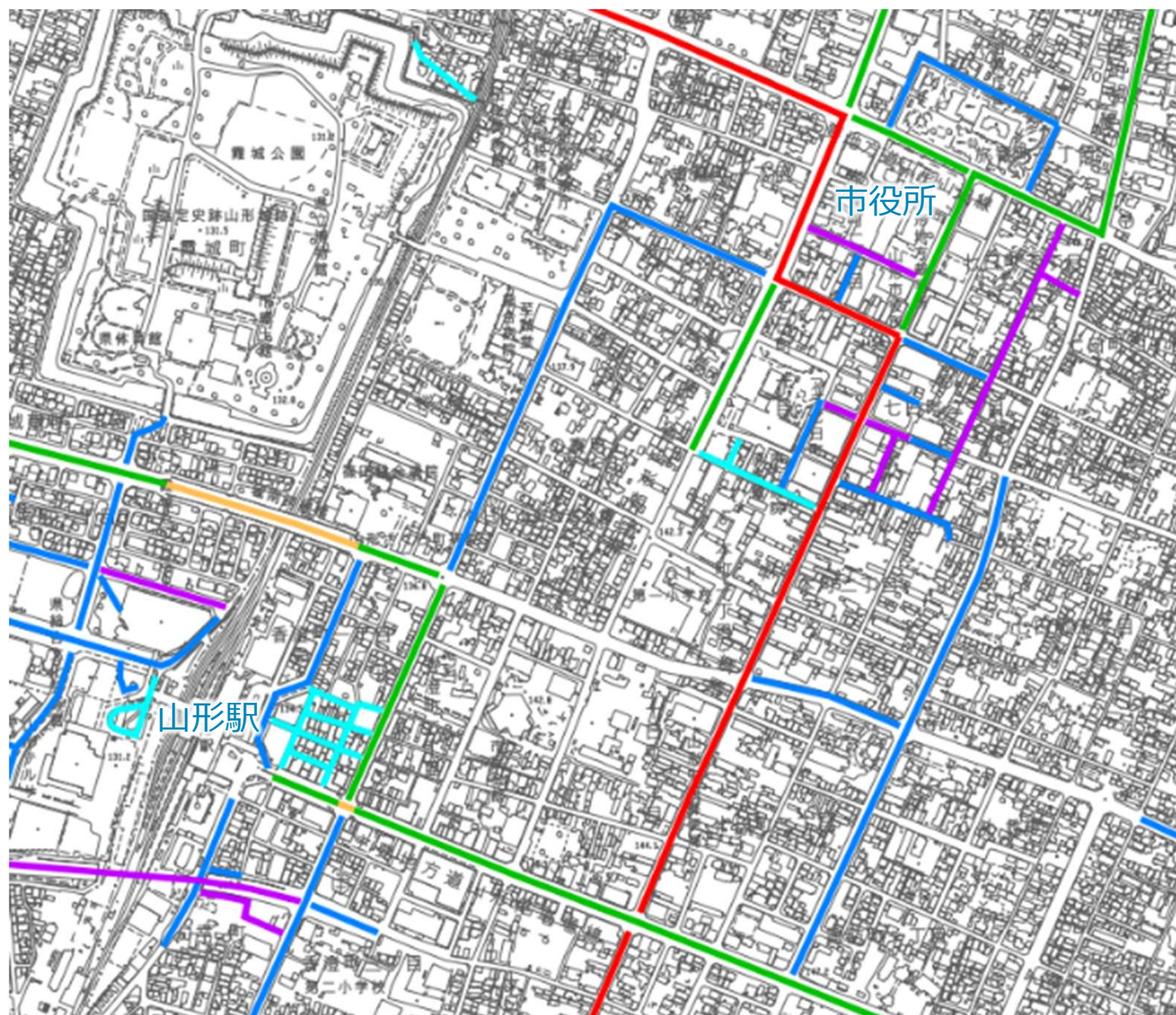
料亭文化の活用 料亭文化と伝統・風情が感じられる建築物の活用



粹七エリア整備イメージ



無散水消雪道路



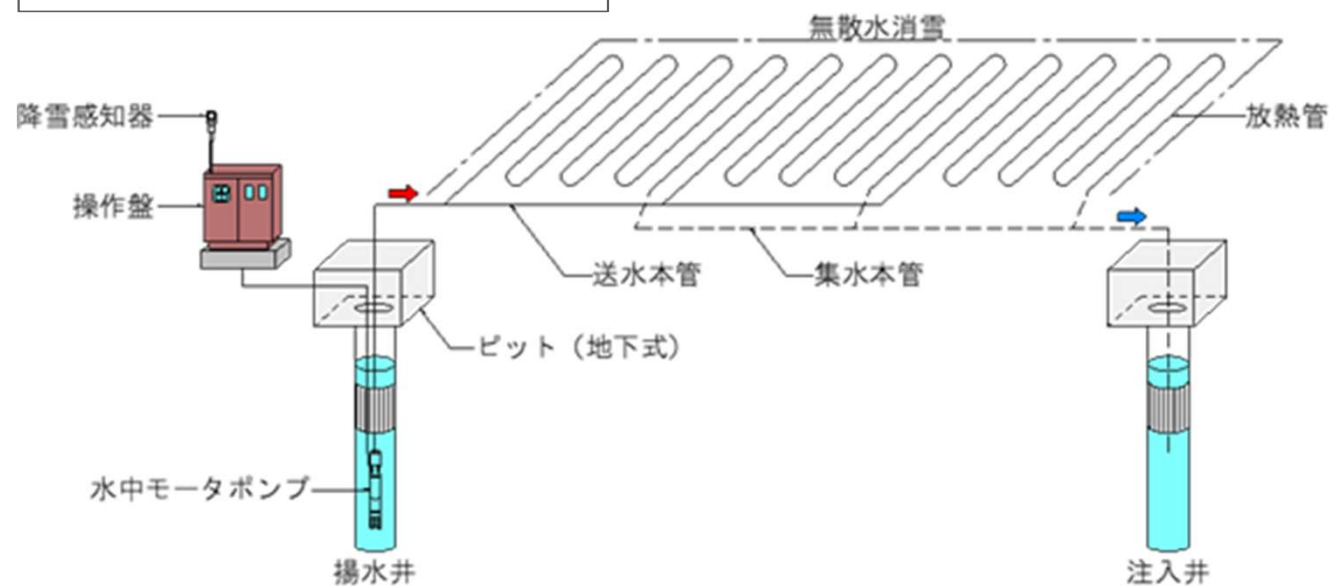
消雪道路凡例

	国道 歩道消雪
	国道 歩車道消雪
	県道 歩道消雪
	県道 車道消雪
	県道 歩車道消雪
	市道 歩道消雪
	市道 車道消雪
	市道 歩車道消雪

無散水消雪システム

- ・路面の下に熱媒体を通過させる放熱管を敷設して、その放熱管から路面に熱を間接的に与えることで、路面の融雪と凍結防止を行うシステム。熱媒体としては、地下水等があげられる。
- ・路面に散水がないため凍結しにくく、降雪時の通行・歩行が極めて快適となる。

無散水消雪システムの仕組み



地下水をくみ上げる（揚水井）→ 融雪 → 地下水を戻す（注入井）

整備前



整備後



居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり

道路などの公共空間を人優先の居心地の良い空間に再構築し新たな『賑わい』を創出する

- 令和3年度
- 令和4年度
- 令和5年度
- 令和6年度
- 御殿堰関連

市役所敷地



県道山形山寺線



市道陳列所裏通線



社会実験の実施



民間主体でもできる
通常運転でもできる

持続可能な取組に昇華

七日町大通り



シネマ通り



ほっとなる広場



御殿堰



山形駅前大通り等



すずらん通り





すずらん商店街 歩行者天国（令和3年度）

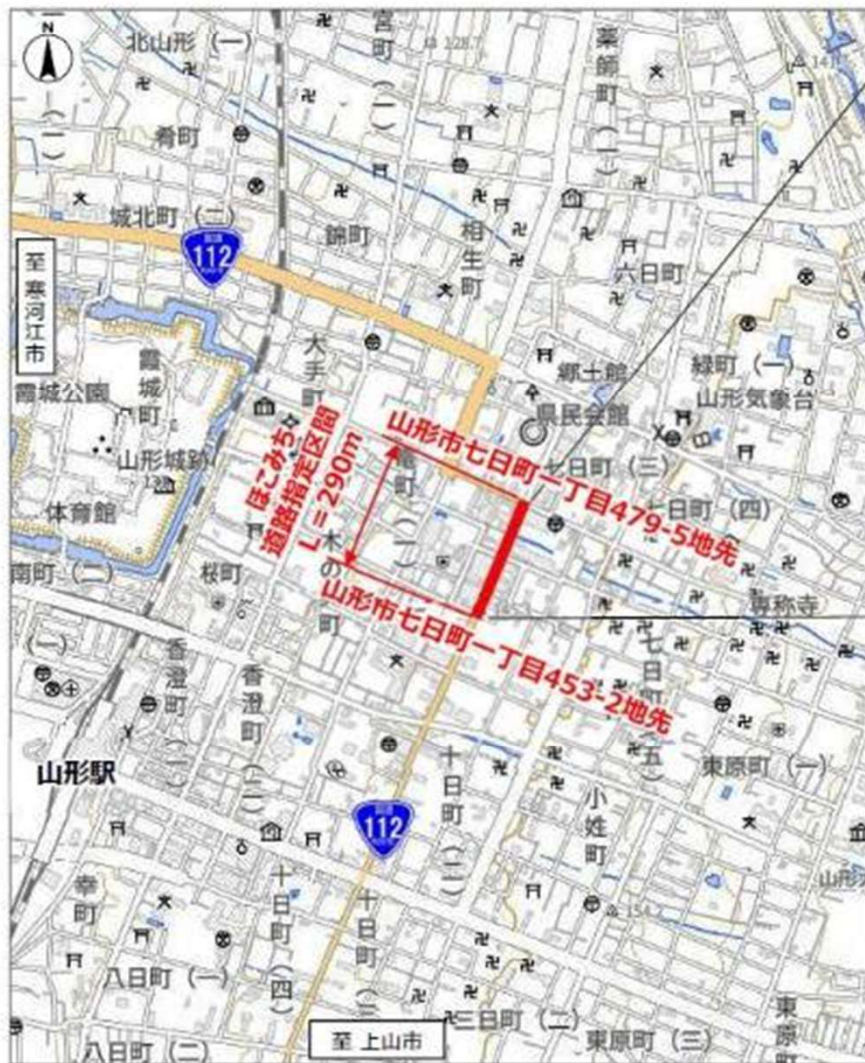


社会実験 → 商店街の自走化へ



国道112号 七日町大通り（令和3年度）

ほこみち道路指定区間 国道112号 山形県山形市七日町



出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

「やまがた Re-v-ing」社会実験の状況



【令和3年度】



【令和4年度】



【令和4年度】

- ・道路管理者：東北地方整備局
- ・路線名：一般国道112号
- ・場所：山形県山形市七日町一丁目
453-2地先
～同市七日町一丁目
479-5地先
- ・指定日：令和5年3月30日

社会実験 → ほこみち指定



社会実験 → ほこみち指定 → 商店街活用

触れるみどり設置事業

【実施場所】ほっとなる広場公園(七日町)、駅前大通り

- 目的

中心市街地の緑量を増加させることで、街に潤いを生み魅力ある憩いの空間形成を目指す。

- 効果

緑量の増加によるウォーカブルなまちづくり、街なかの空間や商店街の通りの景観の上質化による市民のウェルビーイングの向上。

- 内容

街路樹の少ないエリアの歩道や広場に低木鉢やハーブ等を設置し緑化を図る。維持管理については、商店街振興組合や企業に依頼する。また市民ボランティアと協力し行う。



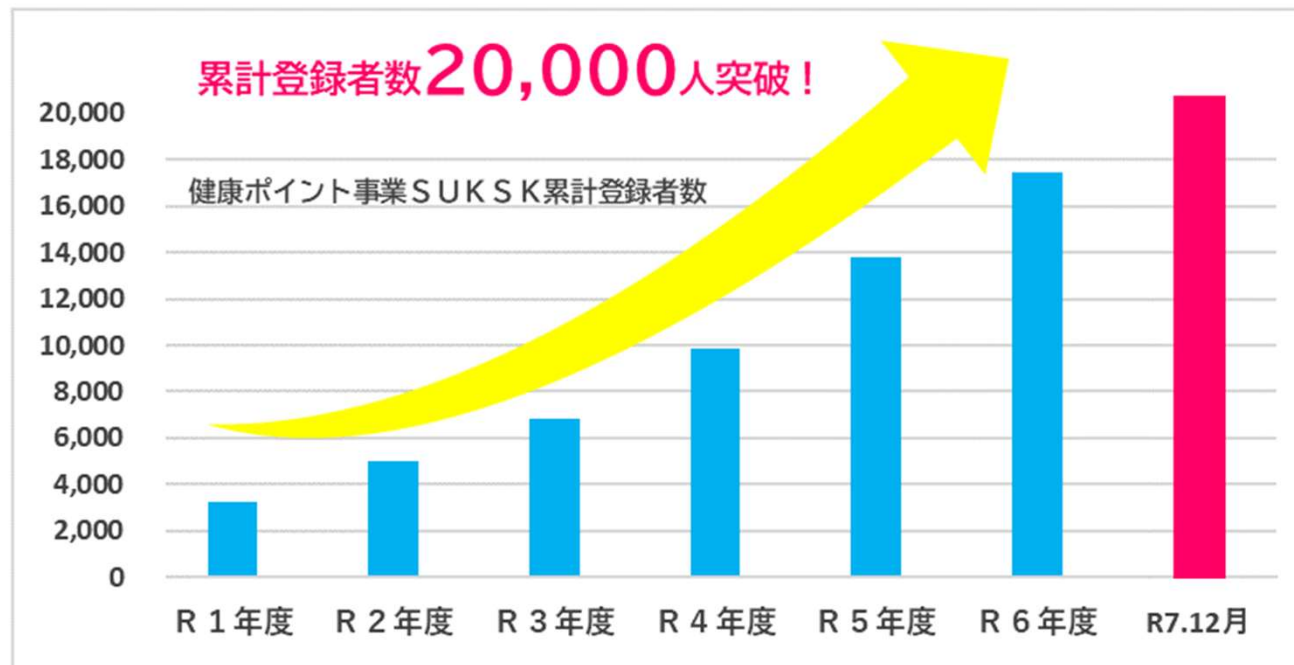
歩いてポイントがたまる事業 SUKSK(スクスク)

・ 目的

食事(S)、運動(U)、休養(K)、社会参加(S)、禁煙・受動喫煙防止(K)に留意する「SUKSK(スクスク)生活」に楽しく取り組み、健康寿命の延伸を図る。

・ 内容

スマホアプリ又は歩数計を活用して、毎日の歩数や、健康づくりに関する事業への参加、健康診査・がん検診等を受診することでポイントをためることができ、一定のポイント数に達した方は、記念品の抽選に参加することができる。



健康医療先進都市 山形市

国が主催する全国アワードで「厚生労働大臣 最優秀賞」受賞!

今年は当選本数大増量!

総計 **5,000** 名様に
県内温泉旅館宿泊補助券・山形牛・商品券などが
当たるチャンス!

山形市健康ポイント事業 **SUKSK**

アプリをダウンロードして
歩いてポイントをためよう!

新機能 **AI健康アドバイス配信中!**

AIがあなたの健康診断結果、直近の2週間の歩数などを分析!「中性脂肪」と「血糖値」改善のためのアドバイスがスマホに毎日届きます。

利用にはSUUKSK(健康マイレージ)への登録
①健康マイレージアプリをダウンロード
②健康結果の入力が必要です。

登録無料

アプリをダウンロードして
今すぐ登録しよう!

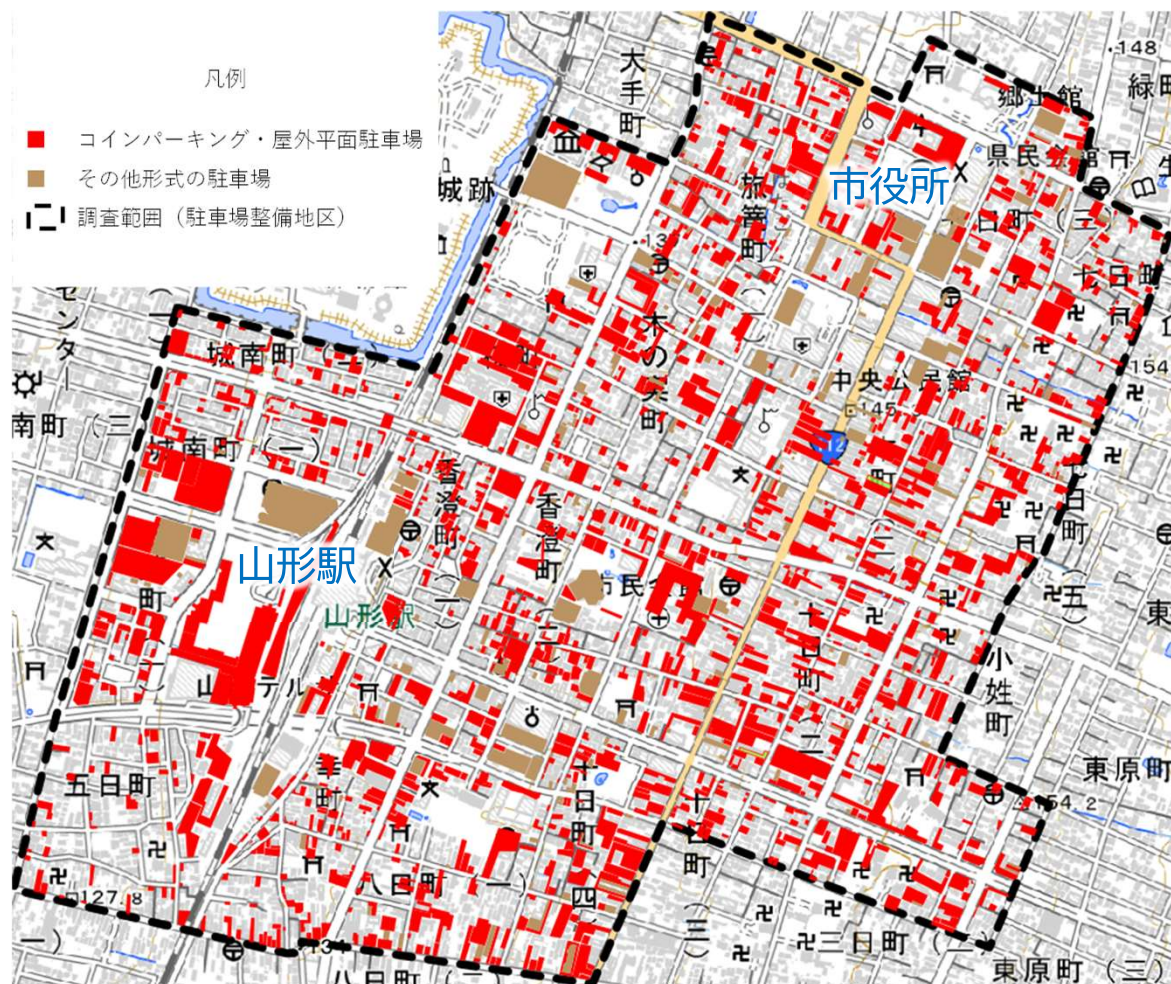
健康マイレージ

「健康マイレージ」で検索
アプリ画面で全国団体コード
ymgtを入力してください

登録方法
①QRコードをスキャン
②入力画面で登録完了

※本サービスにおいて提供される健康情報は参考情報であり、確実性、有用性、安全性を保障するものではありません。

駐車場の配置適正化



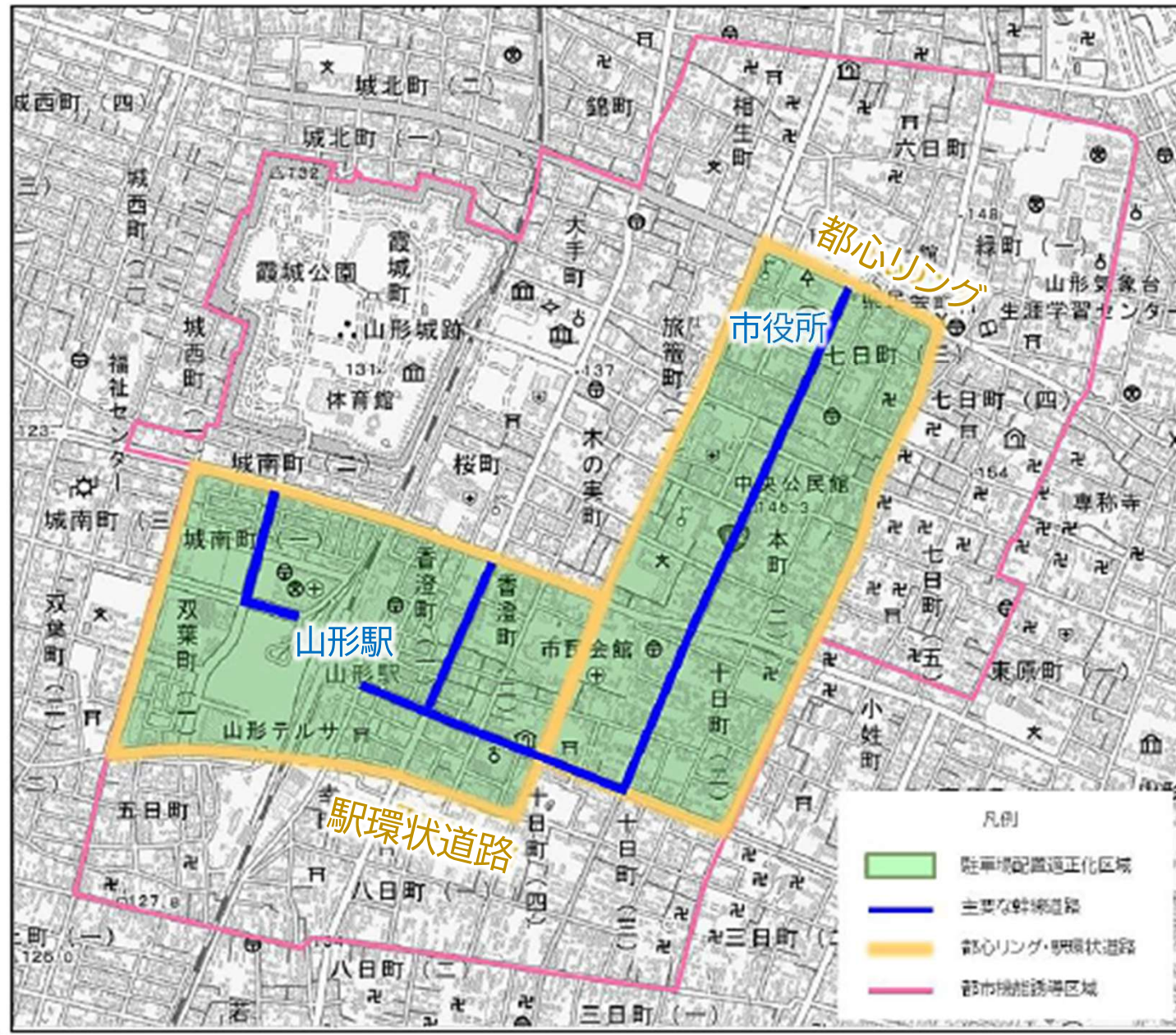
中心市街地の現状（赤が屋外平面駐車場）

25%が屋外平面駐車場



出典: まちづくりと連携した駐車場施策ガイドライン

駐車場配置適正化区域の設定



駐車場配置適正化区域

主要な幹線道路

路外駐車場等配置基準の設定

届出対象	構造等に関する基準
駐車のに供する部分の 面積が50㎡以上 ※無料駐車場を含む (月極駐車場や住宅・マンションな どの専用駐車場は除く)	○駐車場配置適正化区域全体 ①フラップレス化 ②にぎわいの創出に資する管理規定の作成 ③通りに面した部分への多目的スペースの設置や植栽等による緑化 ○主要な幹線道路に面する路外駐車場 主要な幹線道路に面した部分に出入口の設置を原則禁止 ただし、主要な幹線道路のみに面しているため、出入口を設置せざるを得ない場合は、次の事項を遵守することを原則とする。 ①～③のほか、 ④ハーモニカ構造の禁止 ⑤後退して入出庫する必要がある出入口の設置禁止 ⑥駐車場法施行令第7条第1項に掲げる道路等への出入口の設置禁止 ⑦出入口への警報装置（パトランプ）の設置

コインパーキングの多目的利用



令和7年度社会実験

Park & Walk



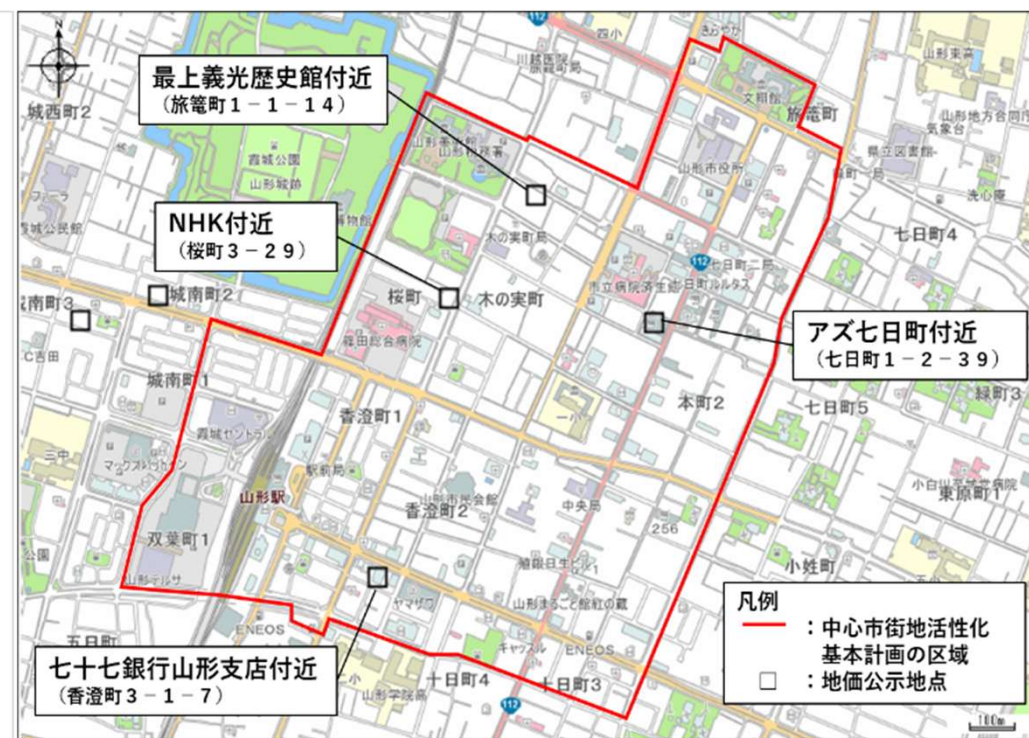
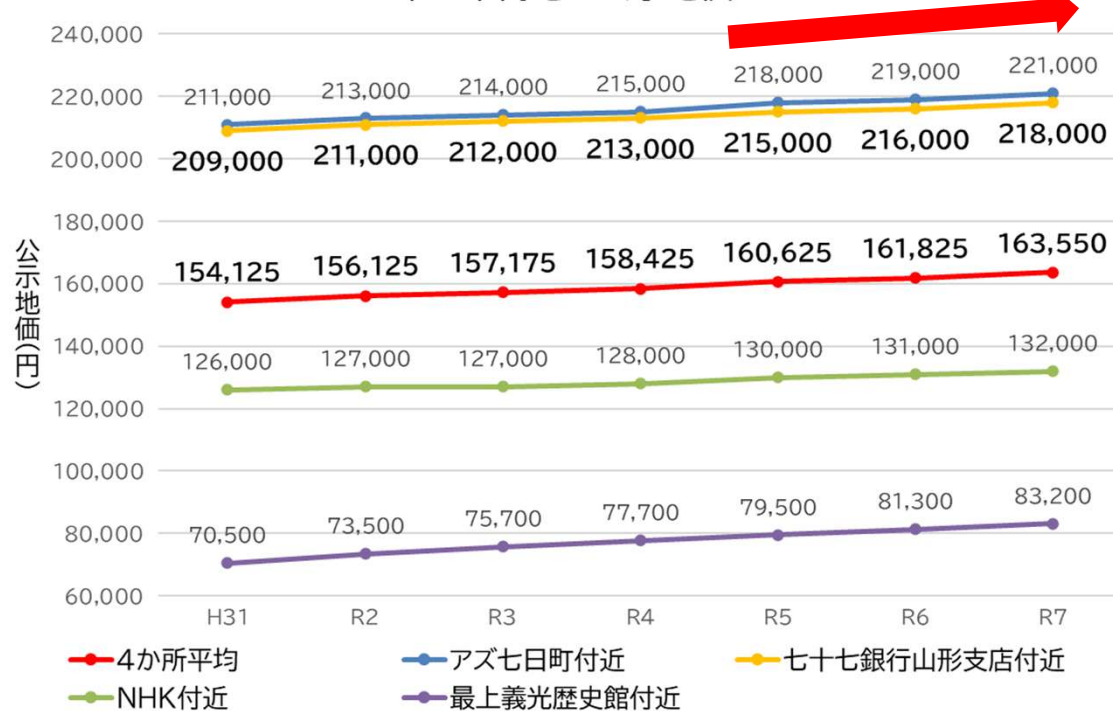
- ・地域資源を活かした観光拠点や居心地の良い空間づくり
 - 歴史的建造物の活用
 - 御殿堰沿いに滞在空間整備(粹七エリア)
 - ・それらをつなぐ安全で快適な歩行空間の整備
 - 無散水消雪道路の整備
 - ほこみちを活用した自転車駐輪の整序化(七日町大通り)
 - 自転車と歩行者の適切な分離(県と共同)
 - 駐車場配置適正化による歩行者と自動車の交錯対策
 - ・歩いてもらう仕掛けづくり
 - 健康ポイント事業(SUKSK)
 - フリンジへの駐車に対する無料化(Q1)
- ※拠点エリアへの移動手段の充実
- ベニちゃんバス(まちなかを循環するコミュニティバス)
 - ベニちゃり(コミュニティサイクル)

取組みの成果：地価の上昇

■山形市中心市街地の公示地価の状況

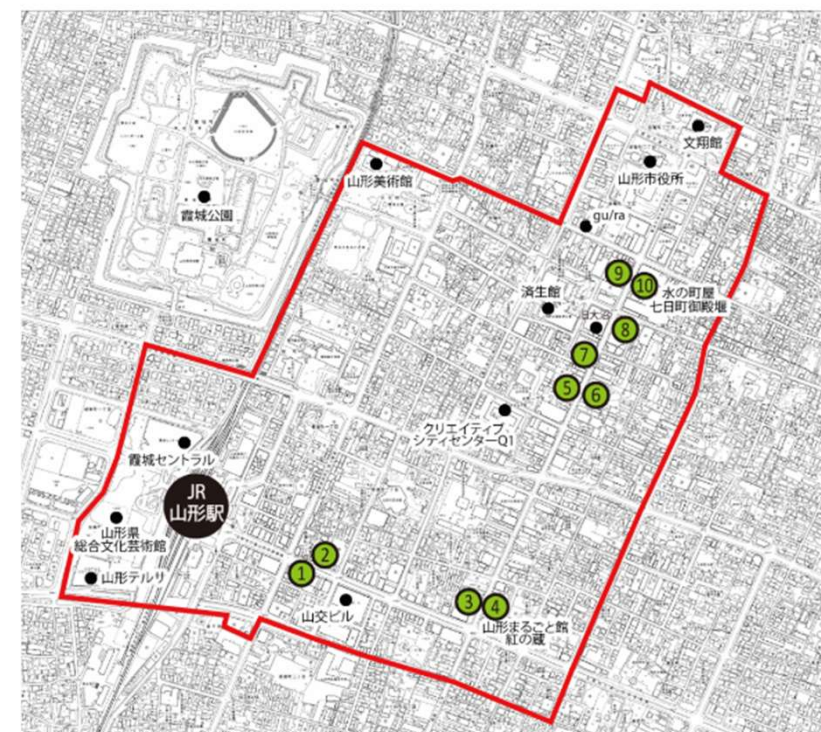
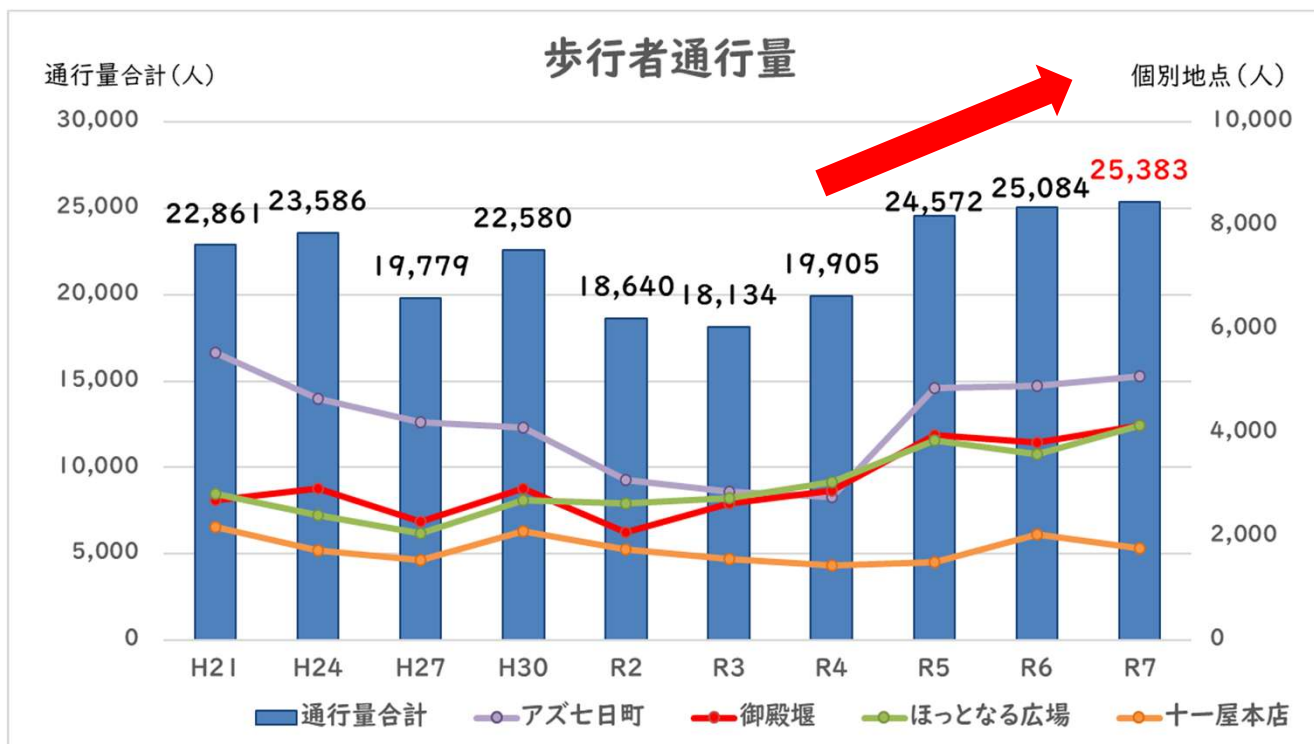
調査地点 4 か所の平均で前年より + 1. 1 %

中心市街地の公示地価



取組みの成果：中心市街地の歩行者通行量

令和7年は、平成21年の観測以来、過去最高の25,383人を達成。



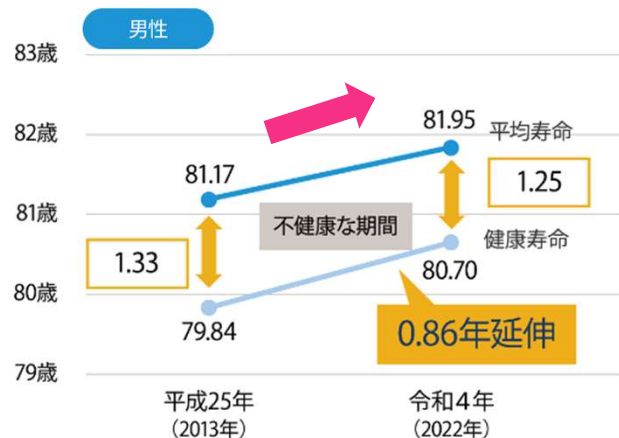
● 調査地点

取組みの成果：健康寿命の延伸

市が提唱する「SUKSK生活」の推進に加え、市民主体の健康づくり活動等により、

◆平均寿命と健康寿命が男女ともに延伸

◆日常生活に制限のある不健康な期間（平均寿命と健康寿命の差）も縮小



65歳以上が増えているにもかかわらず、要介護2以上の認定者が減少

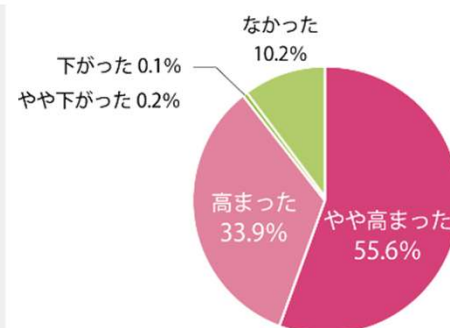


健康寿命を損なう三大原因（認知症・運動器疾患・脳血管疾患）が減少

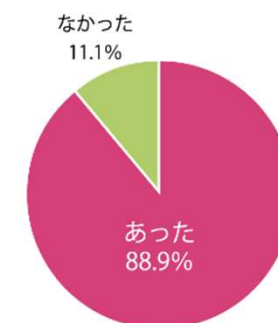


SUKSK登録者に行動変容あり

健康への意識の変化



行動の変化



取組みの成果：人口減少率の緩和

市区町村	令和2（2020）年の総人口を100としたときの総人口の指数						
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
函館市	100.0	92.7	86.1	79.4	72.8	66.4	60.4
旭川市	100.0	95.2	90.8	86.2	81.4	76.5	71.7
青森市	100.0	94.5	88.5	82.2	75.9	69.5	63.3
八戸市	100.0	95.4	90.3	84.8	79.1	73.4	67.6
盛岡市	100.0	97.4	94.1	90.5	86.5	82.2	77.8
秋田市	100.0	96.0	91.6	86.9	82.0	76.9	71.8
山形市	100.0	97.4	94.4	91.3	87.8	84.2	80.4
福島市	100.0	96.7	92.8	88.6	84.0	79.0	73.9
郡山市	100.0	97.6	94.6	91.1	87.1	82.8	78.1

資料：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計）」

ご清聴ありがとうございました